



運動会を支える言葉と心

校長 小林 理人

明日は第69回目の運動会です。令和になって初めての運動会は、これまでの伝統を引き継ぎながら、未来を見据えて新しいことにチャレンジをする節目の運動会になります。各学年ともに仕上げの練習を終え、全ての準備が整いました。子供たちが主役の二小伝統の運動会が幕を開けます。

今年のスローガンは「互いに信じ 絆を深め 全力をつくす運動会」です。代表委員の子供たちが全校に呼びかけて集めた「キーワード」を基に、今年の二小にふさわしいスローガンをつくりました。そして、全校朝会で代表委員会の代表児童がそのスローガンを次のように紹介しました。

「このスローガンにはクラスの仲間を信じ、協力して一生懸命運動会に取り組もうという意味が込められています。」

これまで子供たちが大切にしてきたことや意識してきたことを運動会のスローガンに表現できたことをうれしく思うとともに、運動会にかける子供たちの強い思いを感じました。

ふわふわ言葉を活かしてスローガンの達成を

1学期のふれあい月間では、全校で「ふわふわ言葉」の取組をしました。友達のよいところや活躍を言葉で伝えたり、感謝の気持ちを言葉にしたりすることを意識しました。

中央階段には「ふわふわ言葉」のコーナーをつくり、心が温かくなる「ふわふわ言葉」が毎日たくさん掲示されました。

そして、今年の運動会は、異学年の子供たちが関わる場面がたくさんありました。団体演技や団体競技の練習では、上の学年の子供たちがお手本になったり、「ふわふわ言葉」で教え合いや励まし合いをしたりする姿が随所で見られました。1学期の取組を活かし、身に付いた力を発揮して運動会のスローガン「互いに信頼」「絆を深める」の達成を目指しました。

子供たちの「全力」を支えた皆様の心

全校練習が始まった19日(木)は、今年度最終となる芝生作業日でした。PTA芝生隊と地域のボランティアの皆様が仕上げの芝刈りと雑草取りをしてくださいました。そして、子供たちは、緑でふかふかの芝生で、全力を尽くし、気持ちよく練習をしました。

今年の芝生は、はげた部分の捕植やエアレーション作業により、これまでにない最高の状態になりました。5月に行った一斉作業、保護者や地域、関係団体の皆様による日常的な維持管理が子供たちの「全力」を支えています。

また、金管バンドや応援団、リレーの選手の子供たちは朝の時間や放課後、休み時間を使い、ほぼ毎日練習をしました。保護者の皆様には、朝の練習に参加するための登校時刻への配慮、温かい言葉かけや励ましなどの心の管理、食事や洗濯等の健康管理など、子供たちの「全力」を支えていただきました。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



明日の運動会が、子供たちが、絆を深め全力を尽くす最高の舞台になるよう、私たちも言葉と心で子供たちの輝きを支えていきます。